

町議会主催の議員研修会を開催

「自治体予算決算のポイントと
令和4年度(地方財政計画)について」

講 師 金沢学院大学講師 兼村 高文氏

「インフレが起こっており、このインフレが続いた場合、金利が上がりが大変な経済危機が訪れる」

去る1月20日に行われた議員研修会における講師の兼村高文氏の結びの言葉である。氏は金沢学院大学講師であり国際公会計学会理事でもある。兼村氏によれば当町の財政状況は概ね良好であり健全財政であるとのこと。コロナ禍での研修会ということで時間を短縮して行ったため個々具体的な点を深掘することができなかったことは残念であった。

日銀が目指す2%のインフレ目標というものは、金融緩和で潤沢な資金を供給し、政府が地方交付金の増額、公共インフラの整備、教育・科学分野への投資増などの財政政策によって国民所得を増やし需要を喚起する。その好循環の中で物価が上がるといったものであった。しかし実際に

起こっていることは政府の消費税増税、緊縮財政、コロナ禍での需要の減退、そこへエネルギー価格の高騰によるコスト増の「悪性インフレ(いわゆるスタグフレーション)」。

兼村氏の言葉は現実のものとなって来た。

このままインフレを恐れて緊縮財政を続けた場合、不況が深刻化して「不況下でのインフレ」で日本が沈むのでは?といった点について、次の機会により深めた議論をしたい。

(栗田 隆)



上田地域市町村議会議員研修会

演 題 「VUCA(ブーカ)の時代が始まっている」
講 師 マネジメンツ・ガーディアン 中澤昭彦氏

1月13日(木)、上田市において、上田地域市町村議会議員研修会が開催されました。

VUCAとは、V(Volatility: 変動性)、U(Uncertainty: 不確実性)、C(Complexity: 複雑性)、A(Ambiguity: 曖昧性)の頭文字をとった造語で、「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」を意味します。講師から、こうした時代において、「今まで通りの延長線ではない時代」であることを意識して行動していくことの大切さについて話がありました。

